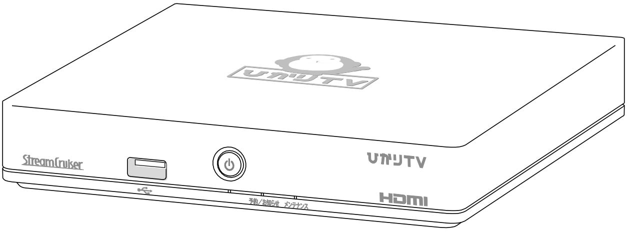
StreamCruiser® Smart TV 3400

取扱説明書

このたびは、StreamCruiser Smart TV 3400をご利用いただきまして、まことにありがとうございます。

- ご使用の前に、この「取扱説明書」をよくお読みのうえ、内容を理解してからお使いください。
- お読みになったあとも、本商品のそばなどいつも手もとに置いてお使いください。



ひかりTV

安全にお使いいただくために必ずお読みください

本書には、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぎ、本商品を安全にお使いいただくために、守っていただきたい事項を示しています。
その表示と図記号の意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。
本書を紛失または損傷したときは、裏表紙に記載の当社ホームページへお問い合わせください。

本書中のマーク説明

δ 警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
δ 注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。
お願い	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、本商品の本来の性能を発揮できなかったり、機能停止を招く内容を示しています。
Memo お知らせ	この表示は、本商品を取り扱ううえでの注意事項を示しています。

This product contains technology subject to certain intellectual property rights of Microsoft. Use or distribution of this technology outside of this product is prohibited without the appropriate license(s) from Microsoft.

この装置は、クラスＢ情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

ＶＣＣＩ－Ｂ

δ　　警告

● 本商品の内部に、異物を混入しないでください。 開口部や隙間から、内部に液体をこぼしたり異物を入れると、ショートや発火の原因となることがあります。
● 不安定な場所に配置しないでください。 傾いた場所や狭い場所などに置くと、落ちたり倒れたりして、破損やけがの原因となることがあります。
● 電源コンセントはタコ足配線をしないでください。 タコ足配線は発火の原因となったり、電源使用量がオーバーしてブレーカーが落ちたりし、他の機器に影響を及ぼす可能性があります。
● 濡れた手で触れないでください。また、濡れた手や汚れた手でケーブルを抜き差ししないでください。 感電の原因となることがあります。
● ACコードを電源コンセントに抜き差しするときは、ACコードを持たずにACアダプタのプラグを持って抜き差ししてください。 そのとき、ACアダプタのプラグにほこりがついていないことを確認し、根元まで確実に差し込んでください。また、ぐらぐらする電源コンセントは使用しないでください。感電やショートによる発火の原因となることがあります。また、プラグを抜く際、コンセント面に対して真直ぐに抜かないとコンセント内の刃受けばねの接触が弱くなり、やがて接触不良となり、発熱の原因となることがあります。
● ACアダプタおよびACコードは、必ず付属のものを使用してください。 それ以外のもの(PM-700、ST-770、ST-3200、ST-4100付属品を含む)を使用すると、火災、感電の原因となることがあります。
● ACアダプタおよびACコードを、本商品以外に使用しないでください。 火災、感電の原因となることがあります。
● 半年から1年に1回はACコードを電源コンセントから抜いて、点検、清掃を行ってください。 プラグにほこりがたまっているときは、すぐに電源コンセントからプラグを抜いて点検、清掃を行ってください。プラグ部分にほこりがたまって、火災、感電の原因となることがあります。
● ACコードや接続ケーブルを傷つける、破損する、加工する、無理に曲げる、引っ張る、ねじる、束ねるなど、しないでください。また、重いものをのせる、踏みつける、挟みこむ、薬品類をかけるなど、しないでください。 ACコードやケーブルが破損し、火災、感電の原因となることがあります。
● 使用する電圧を間違えないでください。定められた電源電圧以外では使用しないでください。 感電、発火の原因となることがあります。
● 異常な熱・煙・音・臭いがする場合は、すぐに使用を中止し、ACコードを抜いてください。 そのまま使用すると、感電、発火の原因となることがあります。
● キャビネットを開けて、分解、修理、改造をしないでください。 修理技術者以外の人は、本商品の分解、修理、改造を行わないでください。 感電、やけど、発火の原因となることがあります。また、キャビネットを開けた場合は、保証の対象外となります。

δ　警告

● 電池をショートさせないでください。 火災、感電の原因となることがあります。
● 電池を火に投下しないでください。 破裂、発火の原因となることがあります。
● 電池を濡らさないでください。 火災、感電の原因となることがあります。
● 電池を子供の手の届く所に置かないでください。 誤飲による窒息などのおそれがあります。
● 電池内部の液体が皮膚や目に入ったときは、大量のきれいな水で洗い流し、すぐに医師の診断を受けてください。 失明や傷害の原因となることがあります。
● 電池を火のそばやストーブのそばなど高熱の場所での使用、放置をしないでください。 漏液、発熱、破裂、発火の原因となることがあります。
● 本商品には小さな部品が含まれています。 お子様が飲み込んだりしないようにしてください。
● 本商品を梱包するビニール袋を幼児の手が届く所に置かないでください。 幼児がかぶると窒息する恐れがあります。
● 本商品、リモコンおよびACアダプタを電子カーペットの上やこたつの中では使用しないでください。 肌が触れる部分が低温やけどなどになる恐れがあります。
● 本商品、リモコンおよびACアダプタが著しく変色している場合や、外観に破損がある場合は、ACアダプタを電源コンセントから抜いて使用を中止してください。 火災・感電の原因となることがあります。
● 暗い部屋で、画面の強い光や光の点滅を見つめないでください。 ごくまれに筋肉のけいれんや意識の喪失などの症状をおこす人がいます。そのような経験のある方は事前に医師と相談してください。
● 自動ドア、火災報知器など自動制御機器の近くに置かないでください。 本商品からの電波が自動制御機器に影響を及ぼすことがあり、誤動作による事故の原因となることがあります。
● 本商品、リモコンおよびACアダプタを、高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器や心臓ペースメーカなどの近くに設置したり、近くで使用しないでください。 電子機器や心臓ペースメーカなどの誤動作の原因となることがあります。また、医療用電子機器の近くや病院内など、使用を制限された場所では使用しないでください。
● 背面や底面のファンの吸排気口をふさがないでください。 内部に熱がこもると、火災の原因となることがあります。
● 吸排気口にほこりがたまっている場合は清掃してください。 清掃の際は電源を切って、ACアダプタを外した状態で実施してください。
● エアダスターなどの清掃用スプレー(可燃性の物質を含む)を使用しないでください。
● 本商品の内部に埃がたまっている場合は、掃除機などを用いて吸い出してください。 その際、筐体を分解しないでください。

δ　注意

● 本商品、リモコンおよびACアダプタを布や布団などでおおった状態で使用しないでください。 内部の温度が上昇し、装置の故障、キャビネットの変形、発火の原因となることがあります。
● 湿度の高い場所での保管や使用はしないでください。 感電の原因となることがあります。
● 温度差の大きい場所へ移動した場合は、すぐには使用しないでください。 本商品を寒い所から急に暖かい所に移動させたときは、本商品内部に結露が発生し、故障の原因となります。万一結露した場合は、ACアダプタを抜いた状態で放置し、完全に自然乾燥させてからACアダプタを接続してください。
● 火気に近づけないでください。 キャビネットの変形によるショート、発火や装置温度の上昇による装置破壊の原因となることがあります。
● 使用中にACコードを外さないでください。また、ACコードに足など引っ掛けないでください。 使用中にACコードが抜けると、設定中の情報を失うことがあります。
● 近くで雷が発生したときは、ACコードを電源コンセントから抜いて、ご使用をお控えください。 近くで雷が落ちた場合は、火災・感電の原因となることがあります。
● 長時間使用しないときは、ACコードを電源コンセントから抜いてください。 絶縁劣化による感電、漏電火災の原因となることがあります。
● リモコンに電池を入れるときは、電池の+、-を間違わないでください。 液漏れによる火災、リモコンの破損の原因となることがあります。
● 異なった種類の電池、または使用済み電池と未使用電池の混用はしないでください。 液漏れによる火災、リモコンの破損の原因となることがあります。
● 長時間使用しないときは、液漏れ防止のため、リモコンから電池を抜いてください。
● リモコンを保管する際、小さなお子様の手の届かない場所に保管してください。
● テレビの画面に近づきすぎたり、長時間の視聴を行わないでください。 視力の低下につながる恐れがあります。
● 映像は、部屋を明るくして視聴してください。 暗所で視聴すると、視力の低下につながる恐れがあります。また、てんかんなどを引き起こす恐れがあります。
● 電池を一般のゴミとして廃棄しないでください。 お住まいの地域の、自治体の条例に従って破棄してください。

設置するときのご注意

δ　注意

● 本商品の前後左右3cm、上3cmに、壁やものがない場所に設置してください。 換気が悪くなると本商品内部の温度が上がり、故障や変形の原因となることがあります。
● 上に物をのせないでください。 変形、破損することがあります。また、換気が悪くなり、本商品内部の温度が上がり、故障の原因となることがあります。
● 屋外には設置しないでください。 屋外に設置した場合の動作保証はいたしません。
● 温度5℃～40℃・湿度5%～85%で、結露しない場所に設置してください。 温度や湿度がこの範囲を超えると、故障の原因となることがあります。
● 直射日光のあたる場所や暖房器具の近くには設置しないでください。 内部の温度が上がり、火災・故障の原因となることがあります。
● 水や油などの液体や湯気のかかる場所には設置しないでください。 故障の原因となることがあります。
● ほこりや小さな金属片の多い場所には設置しないでください。 故障の原因となることがあります。
● 衝撃のかかる場所には設置しないでください。 故障の原因となることがあります。
● 接続しているケーブル類を踏まないような場所に設置してください。 ケーブルを踏むと、感電や故障の原因となることがあります。
● 梱包箱やビニール袋に入れたまま使用しないでください。 本商品内部の温度が上がり、本体の変形、故障、発火の原因となることがあります。
● 落としたり、強い衝撃を与えないでください。 故障の原因となることがあります。

お願い

- 本商品をお手入れする際は、ACアダプタのプラグを電源コンセントから抜いて行ってください。

- ベンジン、シンナー、アルコールなどで拭かないでください。
  本商品の変色や変形の原因となることがあります。汚れがひどいときは、薄い中性洗剤をつけた布をよくしぼって汚れを拭き取り、柔らかい布でからぶきしてください。

- 本商品に殺虫剤など揮発性のものをかけないでください。また、ゴムやビニール、粘着テープなどを長時間接触させないでください。変形、変色の原因となることがあります。

- 次のようなときは、本商品のSTB電源をOFFにしたり、ACアダプタを電源コンセントから抜いたりしないでください。故障の原因となることがあります。
  - 画面に「電源を抜かないでください。」と表示されているとき
  - 本商品の起動中
  - ファームウェアの更新中
  - ファイル操作中および操作直後

- 本商品を、ビデオデッキなどを経由してテレビに接続して、コピーガード仕様の放送やビデオコンテンツを視聴すると、映像が乱れることがあります。その場合は、本商品の映像・音声の出力を直接テレビに接続してください。
  コピーガード仕様の番組およびビデオコンテンツは著作権保護のために「視聴すること」のみ許諾されており、著作権者による文章に明示された許諾がない限り、複製およびその複製物の再生はできません。

- リモコンの電池は新品で使用期限に十分余裕のある電池を使用してください。
  次のような電池を使用した場合は、リモコンの操作ができない可能性があります。
  - 消耗した電池
  - 充電式電池

- リモコンの電池を交換する際は、古い電池と混合せずに2本とも交換してください。
  また、異なる種類の電池を混用しないでください。

- 本商品、またはACアダプタを樹脂製のものやビニールでコーティングされたもの、熱に弱いものの近くに設置しないでください。
  本商品やACアダプタ・近くに設置したものが変形・変色・損傷する可能性があります。

目 次

安全にお使いいただくために必ずお読みください............ 1
目 次.. 7
ご使用にあたって 10
知的財産権について 11
返却などされる場合の留意事項 11
登録商標について 11
電波に関する注意事項 12
録画に関するご注意 13
お客様情報に関するご注意 15
GPL・LGPL について............................... 15
ST-3400 ご利用の流れ.............................. 16

1 お使いになる前に..........16

1-1 パッケージの内容の確認 16
1-2 各部の名称と機能 17
1-2-1 前 面 17
1-2-2 背 面 20
1-3 リモコンの操作方法 21
1-3-1 リモコンのキー名称と機能.................... 21
1-3-2 電池の挿入 24
1-3-3 マウスモードを利用する...................... 25

2 本商品の設置と接続..........26

2-1 本商品の設置 26
2-2 本商品の接続 27
2-2-1 接続手順 27
2-2-2 USB ハードディスクの接続手順 30
2-2-3 光デジタル音声入力対応機器の接続............ 32
2-3 電源をオンにする 33
2-4 リモコン認証を行う 36
2-5 本商品のリモコンでテレビを操作する 37

ご使用にあたって

- 本書はStreamCruiser Smart TV 3400の取り扱いに関する注意事項について説明しています。ご利用されるサービス内容の詳細については巻末記載の当社ホームページやサービス画面の説明などをご参照ください。
- ご使用の際は本書に従って正しい取り扱いをしてください。
- 本商品に搭載されているソフトウェアの解析(逆コンパイル、逆アセンブル、リバースエンジニアリングなど)、コピー、転売、改造を行うことを禁止します。
- 本商品(本書、ソフトウェアを含む)は日本国内向け仕様であり、外国の規格などには準拠しておりません。また海外で保守サービスおよび技術サービスは行っておりません。国内で使用する場合でも、日本語環境によるご利用のみのサービスとなっております。
  This product is designed for only use in Japan and we are not offering maintenance service and technical service of this product in any foreign country. It works properly in only Japanese Operating System.
- 本商品(ソフトウェア含む)は、外国為替および外国貿易法に定める輸出規制品に該当するため、日本国外に持ち出す場合は、同法による許可が必要です。
- 本商品の故障、誤動作、不具合、あるいは停電などの外部要因によって、通信などの機会を逸したために生じた障害や、万一、本商品に登録された情報内容や本商品に接続したUSBハードディスクなどの記憶装置に登録された情報内容が消失してしまうことなどの純粋経済損失が起きたとしても、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
  本商品に登録された情報内容は別にメモをとるなどして保管してください。
- ひかりＴＶをご利用いただくには、以下のいずれかのサービスのご契約と、NTT ドコモが提供するひかりＴＶのご契約が必要となります。
  NTT東日本エリアのお客様：　「フレッツ 光ネクスト」
  NTT西日本エリアのお客様：　「フレッツ 光ネクスト」
- 本書掲載の図・画面はイメージであり、実際の表示と異なる場合があります。
- 本商品を分解したり改造したりすることは絶対に行わないでください。
- 本書に、他社商品の記載がある場合は、これは参考を目的としたものであり、記載商品の使用を強制するものではありません。
- 本書の内容につきましては万全を期しておりますが、お気づきの点がございましたら、裏表紙に記載の当社ホームページへお問い合わせください。
- 本書、ハードウェア、ソフトウェア、および外観の内容について将来予告なしに変更することがあります。

知的財産権について

本商品を利用してインターネット上のコンテンツを利用する場合は､著作権法などの法規を守ってお使いください。

返却などされる場合の留意事項

本商品は、お客様固有のデータを登録または保持可能な商品です。本商品内のデータ流出などによる不測の損害を回避するために、本商品を返却などされる際には、取扱説明書をご覧のうえ、本商品内に登録または保持されたデータを消去くださいますようお願いいたします。

登録商標について

- StreamCruiserⓇは登録商標です。
- EthernetⓇは米国 XEROX 社の登録商標です。
- HDMI、HDMI ロゴおよび、High-Definition Multimedia Interface は、HDMI Licensing,LLC の商標または登録商標です。
- Android、Android ロゴ、Google は、Google Inc. の登録商標です。
- 本商品のソフトウェアの一部分に、Independent JPEG Group が開発したモジュールが含まれています。
- その他、本書に記載されている会社名・商品名は各社の商標または登録商標です。
- Ⓡマークおよび・表記については本文中に明記しません。

電波に関する注意事項

本商品の本体および付属の無線方式リモコン(以下、「本商品」と略す)は、技術基準適合認証を受けた無線機器を内蔵しています。本商品をご使用する際に、無線局の免許は必要ありません。ただし、ご使用にあたっては以下の点にご注意してお取り扱いください。

本商品は、2.4GHz帯域の電波を使用しており、この周波数帯では電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか、他の同種無線局、工場の製造ライン等で使用される移動体識別用構内無線局、および免許を要しない特定小電力無線局、アマチュア無線局等(以下、「他の無線局」と略す)が運用されています。

1. 本商品を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、本商品と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合は、速やかに使用場所を変えるか、または機器の運用を停止(電波の発射を停止)してください。
3. その他、電波干渉の事例が発生し、何かお困りのことが起きた場合には、本書巻末記載のお問い合わせ先へご連絡ください。

■ 本商品は、日本国内でのみ使用できます。

■ 次の場所では、電波が反射して通信できない場合があります。

・強い磁気、静電気、電波障害が発生する場所(電子レンジ付近など)

・金属製の壁(金属補強材が中に埋め込まれているコンクリートの壁も含む)の部屋

・異なる階の部屋同士

■ 本商品をコードレス電話機やテレビ、ラジオなどをお使いになっている近くで使用すると影響を与える場合があります。

■ 本商品は、技術基準適合認証を受けていますので、本商品を分解・改造した場合や、本商品に貼ってある証明ラベルをはがした場合は、法律により罰せられることがあります。

■ 本商品に表示した [2.4 FH4 ▬▬▬] は、次の内容を示します。

2.4	使用周波数	2.4GHz 帯
FH	変調方式	FH-SS 方式
4	想定干渉距離	40m 以下
▬▬▬	周波数変更の可否	全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避可能であること。

録画に関するご注意

- 本商品はお客様が映像を楽しむことを目的とした商品です。本商品に接続したUSBハードディスク以外への録画方法や録画時のトラブルについては、当社サービスのサポート外となりますので、ご了承ください。
- 本商品で録画・録音したものは、著作権法上、個人または家庭内などで楽しむ以外には、権利者に無断で使用できません。なお、著作権法違反に基づく民事および刑事上の責任に関して、当社は一切の責任を負いません。
- 本商品に接続したUSBハードディスクへ、以下の番組は録画できません。
  - 録画禁止の番組
  - ビデオサービス(NHKオンデマンドを含む)
  - カラオケサービス
  - 当社が録画禁止と指定するもの

  また、本商品でUSBハードディスクに録画した番組を別のUSBハードディスクにコピー/移動することはできません。
- 本商品でご利用いただける USB ハードディスクは、当社が動作確認を行った、USB2.0/3.0規格に対応したACアダプタ給電タイプのUSBハードディスクです。
  動作確認済みのUSBハードディスクについては、裏表紙に記載の当社ホームページをご覧ください。
  動作確認済みのUSBハードディスクについては、同一メーカー、同一型番であっても動作を保証するものではありません。万一、動作確認済みのUSBハードディスクを利用できなかった場合でも、USBハードディスクの交換、買い取りなどには応じられませんのでご注意ください。
- 当社が動作確認を行った USB ハードディスクを利用して録画できなかった場合、USBハードディスク内部のデータが削除された場合、USBハードディスクが壊れた場合、およびその他USBハードディスクに係るいかなる問題が発生した場合でも、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 本商品に USB ハードディスクを接続してご利用される場合は、初めに本商品にてフォーマットする必要があります。
  フォーマットを実行すると、USBハードディスクに保存されているデータはすべて消去されるため、必要なデータについてはあらかじめ他のメディアなどへの移動を行ってください。
  なお、本商品でUSBハードディスクに録画した番組を別のUSBハードディスクにコピー/移動することはできません。

● USB ハードディスクがパソコンなど他の機器でご利用いただけない状態の場合は、本商品を用いてフォーマットを実行できないことがあります。

● 本商品に USB ハードディスクを接続し、フォーマットを実行する場合は、本商品が認識した USB ハードディスクの最大領域がフォーマットされます。

● 本商品でフォーマットを実行した USB ハードディスクは、パソコンなど他の機器では利用できません。本商品専用の録画用ハードディスクとしてご利用ください。
録画した番組が保存されている USB ハードディスクを他の機器に接続した場合は、録画した番組が再生できなくなる可能性があります。また、録画した番組が保存されている USB ハードディスクを他の機器で利用した場合は、利用後は、録画した番組の再生ができなくなりますのでご注意ください。

● USB ハードディスクを 2 台以上同時に本商品に接続することはできません。

● 本商品と USB ハードディスクを、USB-HUB などを経由して接続しないでください。
USB ハードディスクの故障などにつながる恐れがあります。

● 本商品の故障などにより本体を交換した場合は、交換前に録画した番組を視聴することはできません。

● 動作確認済みの USB ハードディスクについては、裏表紙に記載の当社ホームページをご覧ください。

● 本商品では、暗号化機能、および、認証機能を有した USB ハードディスクはご利用いただけません。また、USB ハードディスク自体が有している省電力機能はご利用いただけません。これらの機能を停止しても、本商品ではご利用いただけないことがあります。

● 本商品では、RAID 機能を有した USB ハードディスクはご利用できません。
また、機能を停止しても、本商品ではご利用いただけないことがあります。

● 大切な番組を録画される場合は、事前に試し録りするなど、機器が正しく動作することを確認してからご利用ください。

● 録画中、録画した番組の再生中、または録画予約中に、停電、もしくは AC アダプタを電源コンセントから抜くなどにより、本体への通電が断たれると、USB ハードディスクに録画した番組が損なわれることがあります。

● 停電などにより、本体への通電が断たれたため生じた損害について、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

お客様情報に関するご注意

- 本商品は、お客様固有のデータを登録、または保持する商品です。本商品内のデータが流出すると不測の損害を被る恐れがあります。データの管理には十分お気をつけください。
- 本商品を返却などされる際には、本商品のデータは必ず消去してください。
  本商品の初期化は、取扱説明書に記載された手順に従って実行してください。

GPL・LGPLについて

本商品に格納されているプログラムには、GNU General Public License(GPL)(またはGNU Lesser Public License(LGPL))にもとづきライセンスされるソフトウェアが含まれています。

本商品に格納されているプログラムで上記ライセンスが適用されるオープンソースソフトウェアのソースコードはご要望に応じて媒体提供いたします。ただし下記の点をあらかじめご了承ください。

・ソースコードの内容などについてのご質問には一切お答えできません。

・提供されたソースコードにより作成されるプログラムについては一切の保証をいたしません。

・媒体提供の際には別途実費を申し受ける場合があります。

・ソースコードの提供期間は本商品の生産打ち切り後、概ね３年とさせていただきます。

媒体提供を希望される場合は下記までお問い合わせください。

gpl-130603@sei-networks.com

住友電工ネットワークス株式会社

GPL 関連窓口

ST-3400 ご利用の流れ

本商品をご使用していただくには、次のような手順で設定します。

付属品を確認する
「1-1　パッケージの内容の確認」（ρ p.17）

▼

リモコンを準備する
「1-3　リモコンの操作方法」（ρ p.22）

▼

本商品と各機器を接続する
「2-1　本商品の設置」（ρ p.27） 「2-2　本商品の接続」（ρ p.28）

▼

本商品と各機器を接続する
「2-3　電源をオンにする」（ρ p.34） 「2-2　リモコン認証を行う」（ρ p.37）

▼

ひかり TV サービスを利用するための準備をする
「3　ひかり TV サービスご利用の準備」（ρ p.40）

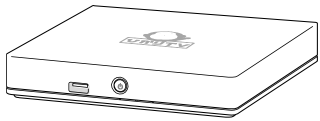
▼

本商品を設定する
「4　本商品の設定」（ρ p.51）

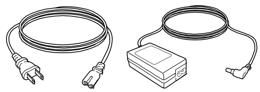
1　お使いになる前に

1-1　パッケージの内容の確認

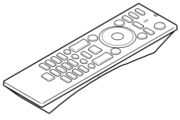
本商品には、本体および付属品が入っています。まず、これらがすべて揃っているかご確認ください。
万一、足りないものや、冊子に乱丁・落丁がありましたら、裏表紙に記載の当社サポート窓口までご連絡ください。



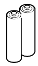
StreamCruiser Smart TV 3400
本体 1台



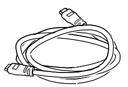
AC アダプタ
(ACケーブル含む)
1対



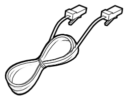
リモコン
1個



リモコン用単3形電池
2個



HDMI端子ケーブル
1本

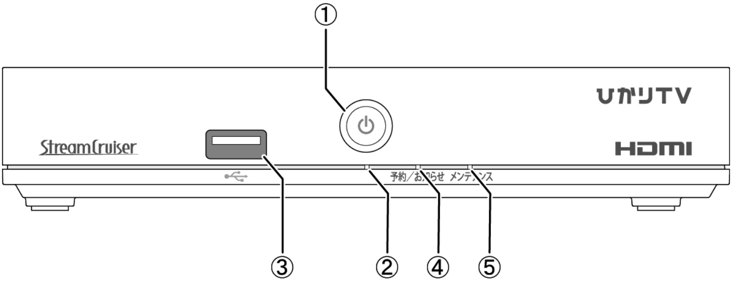


LANケーブル
(丸型 1m)
1本

取扱注意事項書
1冊

1-2　各部の名称と機能

1-2-1　前 面

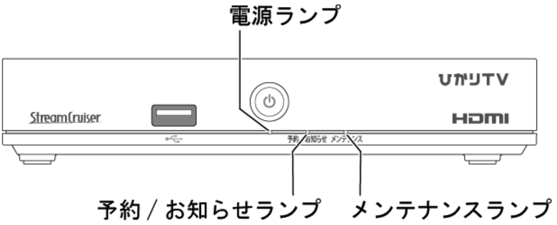


名 称	機能説明
① 電源スイッチ	STB電源をオン/オフします。(ρ p.36)
② 電源ランプ	本商品の動作状態を表示します。(ρ p.19)
③ USBポート (USB2.0)	本商品に対応したUSB機器(USB2.0)を接続します。(ρ p.31)
④ 予約/お知らせランプ	本商品の予約/お知らせ状態を表示します。(ρ p.19)
⑤ メンテナンスランプ	本商品のメンテナンス状態を表示します。(ρ p.19)

お願い! 本商品に対応した USB 機器以外は接続しないでください。

ランプ表示

本製品の動作状況を各ランプの組み合わせで表示します。
状態の詳細については、次ページをご参照ください。



状 態	電源ランプ		予約/お知らせランプ		メンテナンスランプ	
初期化中	赤	点滅	—	—	赤	点滅
スリープ	赤	点灯	—	—	—	—
ハード異常	—	—	—	—	赤	点滅
ファームウェア更新中	赤	点灯	橙	点滅	橙	点滅
ネットワーク異常	赤	点灯	—	—	緑	点滅
ファームウェア ダウンロード中	赤	点灯	—	—	橙	点灯
スタンバイ	橙	点灯	—	—	—	—
電源 ON	緑	点灯	—	—	—	—
初期化失敗	緑	点灯	—	—	赤	点滅
ペアリング待ち	緑	点灯	橙	点滅	—	—
ハードディスク初期化	緑	点灯	—	—	橙	点滅
ハードディスクフル	緑	点灯	—	—	赤	点灯
アップロード配信	緑	点灯	橙	点灯	—	—
お知らせ	緑	点灯	赤	点灯	—	—
予約	緑	点灯	緑	点灯	—	—
電源 OFF	—	—	—	—	—	—
録画中	緑	点灯	緑	点灯	—	—

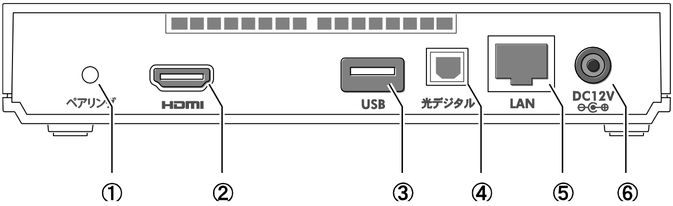
お願い! ファームウェアの更新中は、本商品の STB 電源をオフにしたり、AC コードを抜かないでください。(ρ p.110)

Memo　予約/お知らせランプは、予約とお知らせの両方がある場合は、赤色点灯となります。

本製品の状態を説明します。

状 態	説 明
初期化中	本製品の初期化中です。
スリ—プ	STB電源オフ(スリープ)状態です。
ハ—ド異常	機器故障が発生しています。 裏表紙に記載の当社サポート窓口までお問い合わせください。
ファ—ムウェア更新中	ファームウェア更新中です。 ファームウェアの更新中は、本商品のSTB電源をオフにしたり、ACコードを抜かないでください。
ネットワ—ク異常	サーバとの通信で、エラーが発生しています。
ファ—ムウェア ダウンロード中	ファームウェアダウンロード中です。
スタンバイ	STB電源オフ(スタンバイ)状態です。
電源ON	通常状態です。
初期化失敗	本製品の初期化に失敗しました。
ペアリング待ち	リモコン認証中です。
ハ—ドディスク初期化	USBハードディスクを初期化中です。
ハ—ドディスクフル	USBハードディスクが満杯です。(録画領域なし)
アップロ—ド配信	DLNAアップロード配信中です。
お知らせ	お知らせがあります。 予約がある場合でも、お知らせの通知が優先されます。
予約	予約があります。
電源OFF	主電源オフ状態です。 (コンセントに接続されていません)
録画中	USBハードディスクへ録画中です。

1-2-2 背 面



名 称	表 示	機能説明
① ペアリングボタン	ペアリング	リモコンを交換したとき､新しいリモコンとのペアリング(認証)に使用します。(ρ p.37)
② HDMI出力端子	HDMI	映像/音声信号を出力します。 HDMI入力端子を持つテレビと本商品を､付属のHDMI端子ケーブルで接続します。(ρ p.29)
③ USBポート(USB3.0)	USB	本商品に対応したUSB機器(USB3.0)を接続します。(ρ p.31)
④ 光デジタル音声出力端子	光デジタル	音声信号(デジタル)を出力します。 光デジタル音声入力対応機器と本商品を､市販の光デジタル端子ケーブルで接続します。(ρ p.33)
⑤ ネットワーク接続ポート	LAN	ネットワーク接続機器と本商品を、付属のLANケーブルで接続します。(ρ p.28)
⑥ 電源端子	DC12V	付属のACアダプタを接続します。(ρ p. 30)

Memo　本商品に接続できるネットワーク接続機器については､裏表紙に記載の当社サポート窓口までお問い合わせください。

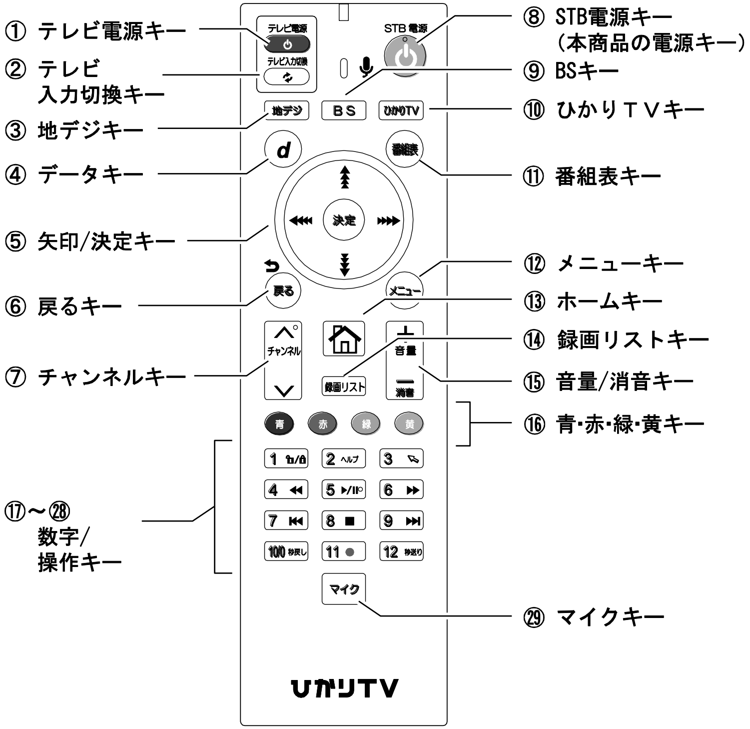
1-3 リモコンの操作方法

リモコンについて説明します。

ボタンの機能は、表示されている画面に応じて変わります。

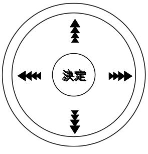
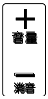
1-3-1 リモコンのキー名称と機能

各ボタンの機能については、次ページ以降をご覧ください。



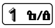
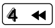
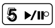
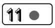
実際の操作については以下のページをご覧ください。

- 本商品のリモコンでテレビを操作する（ρ p.38）
- 本商品の設定で使用するリモコンキー（ρ p.51）

名 称	ボタン	機能説明
① テレビ 電源キー		テレビの電源をオン/オフします。
② テレビ入力 切換キー		テレビの入力を切り換えます。
③ 地デジキー		地上デジタル放送に切り換えます。
④ データキー		[データ放送]画面を表示します。
⑤ 矢印/ 決定キー		カーソルや選択枠を移動し、選択された項目や内容を決定します。 ※マウスモードのときは、マウスポインタを移動します。(ρ p.26)
⑥ 戻るキー		1つ前の画面に戻ります。
⑦ チャンネル キー		放送チャンネルを変更します。
⑧ STB電源キー		STB電源をオン/オフします。(ρ p.36)
⑨ BSキー		BSデジタル放送に切り換えます。
⑩ ひかりＴＶ キー		テレビサービスに切り換えます。
⑪ 番組表キー		番組表を表示します。
⑫ メニュー キー		メニューを表示します。
⑬ ホームキー		[ホーム]画面を表示します。(ρ p.104)
⑭ 録画リスト キー		録画リストに切り換えます。
⑮ 音量/消音 キー		テレビの音量を変更します。 「－」を長押しすると、消音します。消音中に「＋」を押すと、消音前の音量に戻ります。

Memo

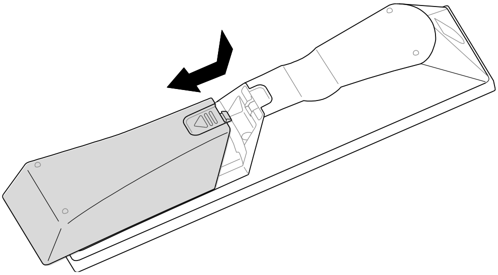
リモコンの①[テレビ電源キー]、②[テレビ入力切換キー]、⑮[音量/消音キー]は、テレビを操作するボタンです。(ρ p.38)

名 称	ボタン	機能説明
⑯ 青・赤・緑・黄キー		それぞれの画面に表示された動作をします。
⑰ ～ ㉘ 数字キー		地デジ/BS放送を視聴中は、チャンネルを切り換えます。 設定画面などでは数字を入力します。 ※[秒戻し10/0]ボタンを押すと、10または0が入力できます。
⑰ シークレットキー		シークレットモードを設定/解除します。 シークレットモードを設定にするためには暗証番号の入力が必要となります。(ρ p.96)
⑱ ヘルプキー		機能拡張用のため、現在はご利用いただけません。
⑲ モード切換キー		3秒以上長押しすると、マウスモードに切り換えます。(ρ p.26) マウスモードにすると、リモコンの[矢印キー]を使って画面上のマウスカーソルを操作できます。 通常のリモコン操作に戻すには、もう一度3秒以上長押しします。 ※視聴中に「モード切り換えのお願い」メッセージが表示されたら、マウスモード、または通常のリモコン操作モードに切り替えてください。初期状態では、通常のリモコン操作モードになっています。
⑳ 早戻しキー		ビデオ映像を早戻しします。
㉑ 再生/一時停止キー		ビデオ映像を開始/一時停止します。
㉒ 早送りキー		ビデオ映像を早送りします。
㉓ チャプター戻しキー		1つ前のチャプターに移動します。 ※チャプターとは、映像の区切りのことです。
㉔ 停止キー		再生を停止します。
㉕ チャプター送りキー		次のチャプターに移動します。 ※チャプターとは、映像の区切りのことです。
㉖ 秒戻しキー		押すごとに、10秒ずつ早戻しします。
㉗ 録画キー		視聴中の番組を録画します。
㉘ 秒送りキー		押すごとに、30秒ずつ早送りします。
㉙ マイクキー		機能拡張用のため、現在はご利用いただけません。

1-3-2　電池の挿入

リモコンに電池(単 3 形電池)を挿入します。

1　**リモコン背面の電池カバーを外します。**



2　**付属の電池を挿入します。**

電池収納部のイラストを参考にして、プラス(＋)、マイナス(－)の向きを正しく差し込んでください。

電池を交換する際には、古い電池と混合せずに2本とも交換してください。
また、異なる種類の電池を混用しないでください。

3　**電池カバーを取り付けます。**

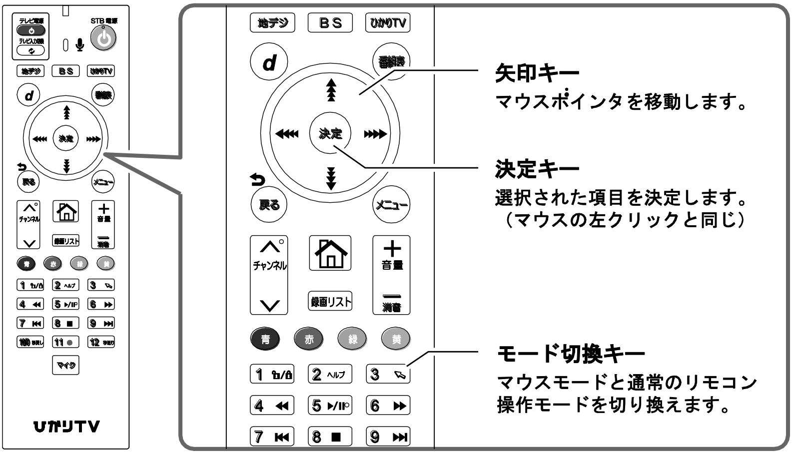
リモコンに電池を入れただけでは、本商品のリモコンは使えません。本商品でリモコンを使用するためには、リモコンのペアリング(認証)が必要です。(ρ p. 37)

1-3-3　マウスモードを利用する

マウスモードにすると、リモコンの[矢印キー]を使って画面上のマウスカーソルを操作できます。

操作中にモード切り換えのお願いメッセージが表示されたら、マウスモード、または通常のリモコン操作モードに変更してください。

初期状態は、通常のリモコン操作モードです。



マウスモードを使用する前に、リモコンをペアリング(認証)してください。(ρ p. 37)

1　**リモコンの[モード切換キー]を 3 秒以上長押しします。**

画面にマウスポインタが表示され、マウスモードに切り換わります。

- リモコンの[矢印キー]で、マウスカーソルが移動します。
- リモコンの[決定キー]で、決定(マウスの左クリックと同じ)します。

マウスモードを解除して通常のリモコン操作モードに戻すには、もう一度リモコンの[モード切換キー]を3秒以上長押しします。

2　本商品の設置と接続

本商品を設置・接続して、使用できるようにします。

2-1　本商品の設置

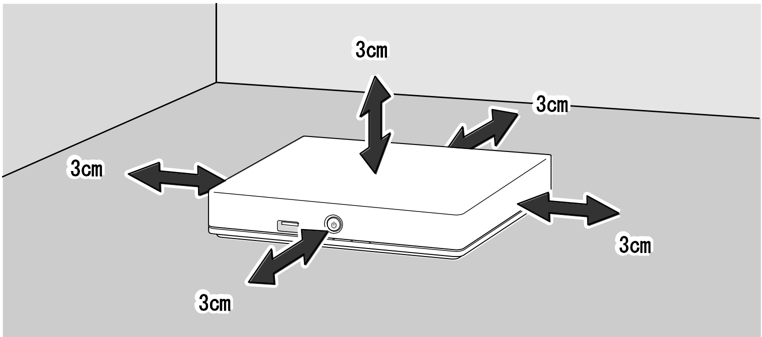
本商品は、横置き専用です。
お客様の環境に合わせて、設置してください。

δ　注意
・本商品の上にUSBハードディスクなどの物を置かないでください。 ・テレビチューナー、DVDプレーヤ、ハードディスクレコーダ、ゲーム機、パソコンなどの発熱する機器の上に設置しないでください。

本商品を設置すると、本商品の下部が熱くなることがあります。
本商品の下部やその下の台を触れないでください。

1　**天面が上になるようにして、安定した水平な所に横置きで設置します。**

本商品の設置面以外は3cm以上の空間を作るようにしてください。



本商品底面には、吸排気口があります。
吸排気口を完全にふさがないように設置してください。

2-2　本商品の接続

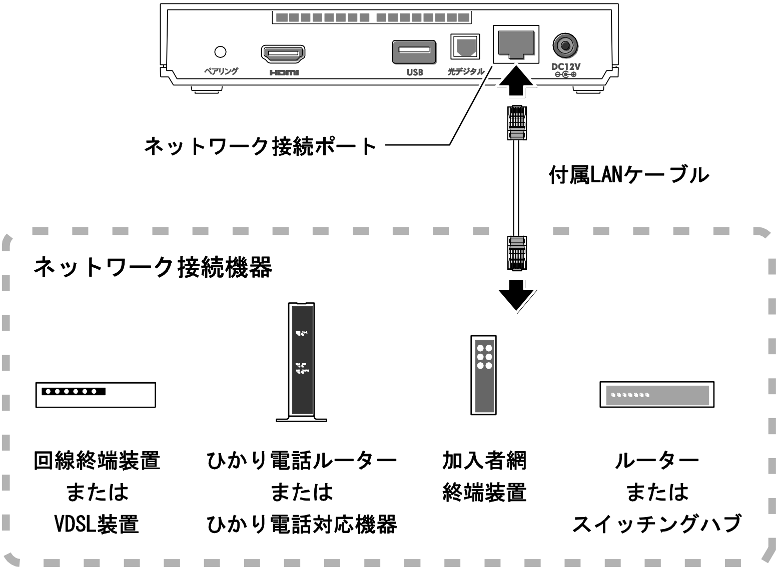
本商品と各周辺機器を接続します。

接続時には各ケーブルのコネクタ部の向きに注意してください。
無理に接続しようとすると破損する恐れがあります。

2-2-1　接続手順

1　**本商品のネットワーク接続ポートと、ネットワーク接続機器を接続します。**

付属のLANケーブルを使い、ネットワーク接続機器と接続してください。



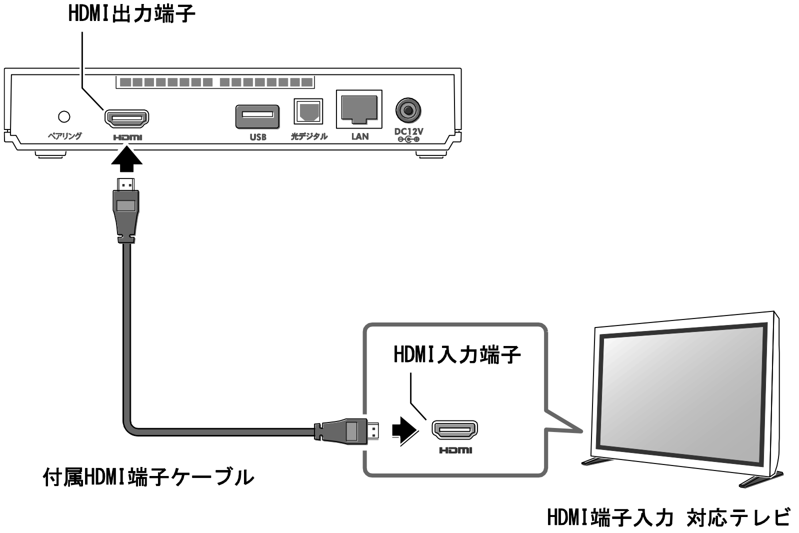
接続するネットワーク接続機器は、ご利用になるサービスや地域によって異なります。ご利用のサービス内容を確認して、適切なネットワーク接続機器を接続してください。

Memo　本商品に接続できるネットワーク接続機器については、裏表紙に記載の当社サポート窓口までお問い合わせください。

2　**本商品の HDMI 出力端子と、テレビの HDMI 入力端子を接続します。**

付属のHDMI端子ケーブルを使い、HDMI端子入力対応のテレビと接続してください。

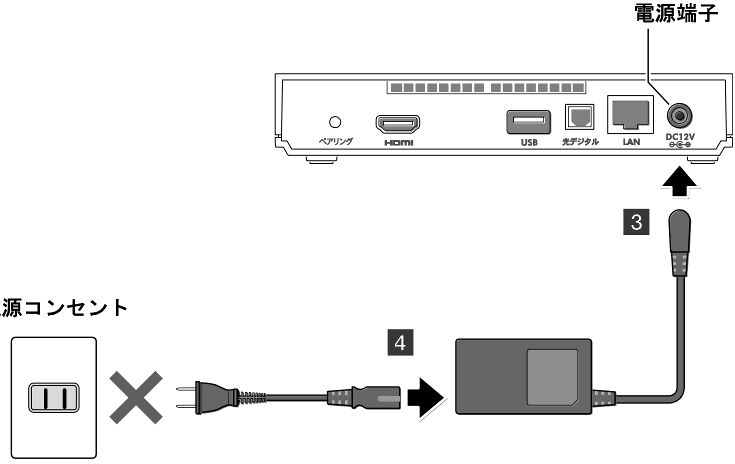
Memo
・HDMI出力端子は映像データと音声データを同時に出力しています。
・HDMI入力に対応した機器（パソコン用モニタなど）にも接続できます。



・STB電源をオンにした状態でHDMI端子ケーブルを抜き差ししないでください。
・テレビの電源をオンにしたあとに、本商品のSTB電源をオンにしてください。先に本商品のSTB電源をオンにすると、映像が映らない場合や、正しく映らない場合があります。

Memo
・接続するHDMI端子入力対応機器によっては、映像が正常に映らない場合があります。
・「HDMI-DVI変換コネクタ」を利用して本商品をDVI入力端子に接続した場合は、正常な映像が表示されない、または映像自体が映らないことがあります。

3　**本商品の電源端子に、AC アダプタのプラグを接続します。**



δ　警告
AC アダプタおよび AC コードは、必ず付属のものを使用してください。 それ以外のものを使用すると、火災、感電の原因となることがあります。

4　**AC アダプタ本体に、AC コードを接続します。**

ここでは、AC コードは電源コンセントに接続せず、抜いたままにしておいてください。
「2-3 電源をオンにする」(ρ p.34)で、AC コードを接続します。

2-2-2 USB ハードディスクの接続手順

本商品に USB ハードディスク(USB2.0/3.0 規格 対応)を接続することで、次の番組を録画できます。(ρ p.88)

- テレビサービス
- 地上デジタル放送
- BS デジタル放送

・本商品に初めて USB ハードディスクを接続した場合は、必ず「USB ハードディスク接続設定」(ρp.88)を操作してフォーマットと認証を行ってください。

・USB ハードディスクを本商品に接続してフォーマットを実行すると、USB ハードディスクに保存されているデータはすべて消去されます。
必要なデータについてはあらかじめ他のメディアなどへの移動を行ってください。

・USB ハードディスクを取り外すときは、本商品の主電源をオフにしてから取り外すか、[USB ハードディスク取り外し]画面から取り外してください。(ρ p.91)

・本商品が USB ハードディスクへアクセス中は、USB ハードディスクを取り外したり、USB ハードディスクや本商品の主電源をオフにしたりしないでください。

・本商品でフォーマットした USB ハードディスクは、パソコンなど他の機器では利用できません。本商品専用の録画用ハードディスクとしてご利用ください。

Memo

・本商品に接続した USB ハードディスクへ、次の番組は録画できません。

- 録画禁止の番組
- ビデオサービス(NHK オンデマンドを含む)
- カラオケサービス
- 当社が録画禁止と指定するもの

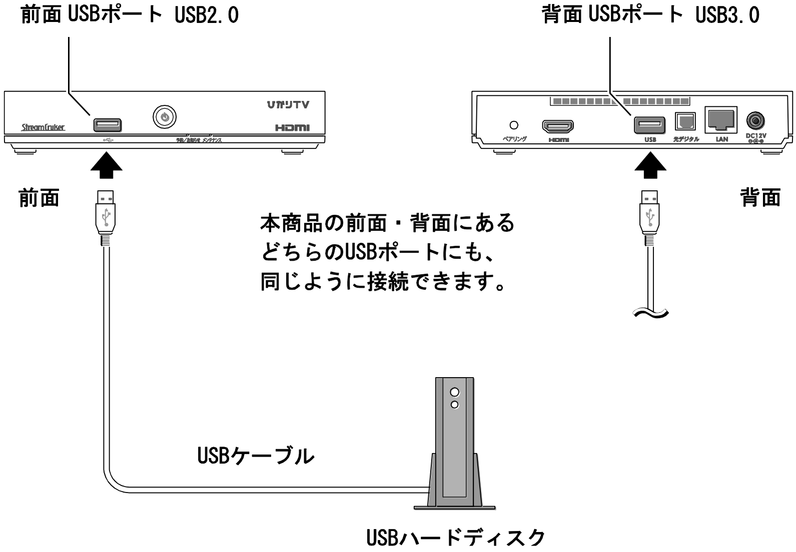
また、USB ハードディスクに録画した番組を別の USB ハードディスクや、DVD などのメディアにコピー/移動することはできません。

・本商品にて USB ハードディスクをご利用になるには、初めにご利用の ST-3400(本商品)にてフォーマットする必要があります。(ρ p.88)

1 **本商品の USB ポートに、USB ハードディスクを接続します。**

USBハードディスクは「3 ひかりＴＶサービスご利用の準備」(ρ p.40)が終了してから接続してください。

前面・背面にあるどちらのUSBポートにも、同じように接続できます。



前面USBポートはUSB2.0、背面USBポートはUSB3.0に対応しています。

・本商品とUSBハードディスクを、USB-HUBなどを経由して接続しないでください。

・USBハードディスクを2台以上同時に接続することはできません。

2 **USB ハードディスク、本商品の電源をオンにします。**

USB ハードディスクの電源を、後にオンにしても認識します。

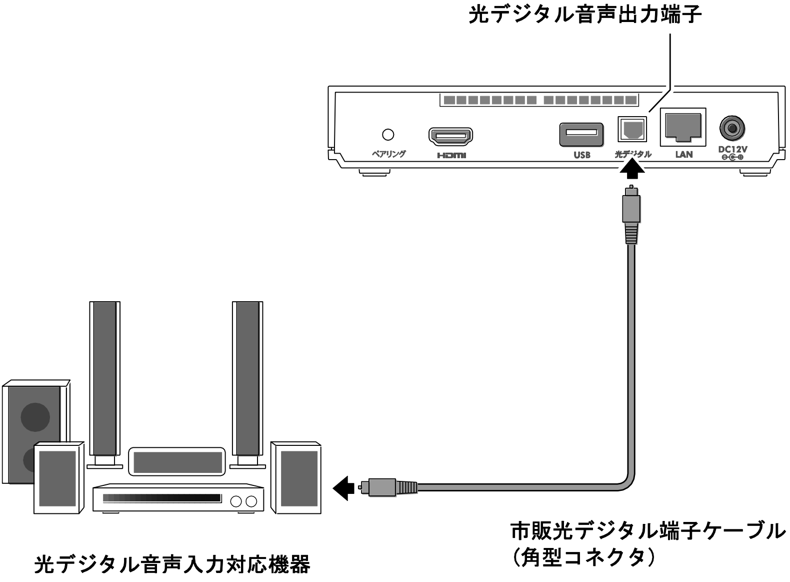
本商品に初めて USB ハードディスクを接続した場合は、必ず「USB ハードディスク接続設定」(ρ p.88)を操作してフォーマットと認証を行ってください。

2-2-3　光デジタル音声入力対応機器の接続

本商品は光デジタル音声入力対応機器（ホームシアタースピーカなど）に接続できます。

1　**本商品の光デジタル音声出力端子と、光デジタル音声入力対応機器を接続します。**

市販の光デジタル端子ケーブル（角型コネクタ）を使い、接続してください。



2-3　電源をオンにする

AC アダプタを電源コンセントに接続して、本商品の電源をオンにします。

Memo　「2-2 本商品の接続」が終了していることが前提になります。

本商品の電源には、「主電源」と「STB 電源」の 2 種類があります。

主電源	AC コードが電源コンセントに接続され、本商品に電気が供給されている状態です。 主電源をオン/オフするには、AC コードを電源コンセントに接続/取り外します。(ρ p.34)
STB 電源	STB 電源をオン/オフするには、本商品前面の電源スイッチ、またはリモコンの[STB 電源キー]を押します。(ρ p.18、23)

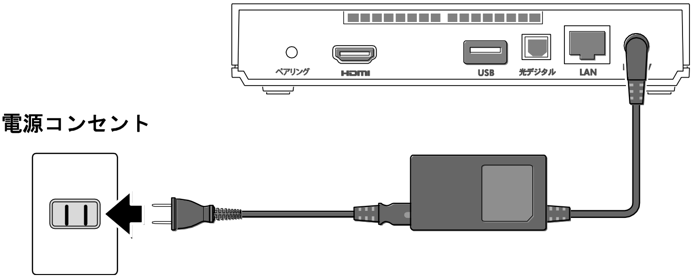
STB 電源をオフにすると本商品はスタンバイ状態になり、しばらくするとスリープ状態になります。

STB 電源オン	映像・音声を出力します。
STB 電源オフ	スタンバイ　：映像・音声の出力を停止します。 スリープ　　：省電力待機状態に入ります。

1　**テレビの電源をオンにします。**

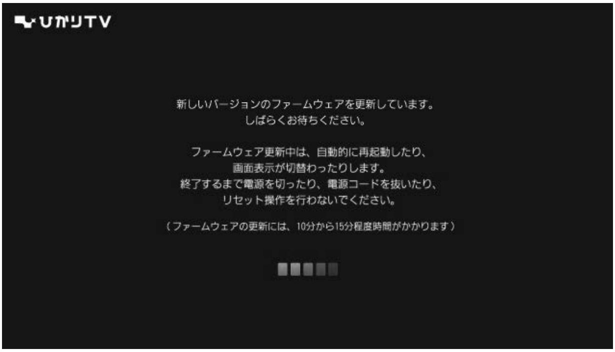
テレビの外部入力を「HDMI接続」に切り替えてください。
切り替え方法はテレビに付属の取扱説明書をご参照ください。

2　**AC コードを電源コンセントに接続します。**



本商品の主電源がオンになり、本商品が起動します。

テレビモニタに起動画面が表示され、ファームウェア更新の確認が自動的に始まります。(ρ p.110)



ファームウェアの更新が完了するまで、しばらくお待ちください。
完了まで10分から15分程度時間がかかります。

・ファームウェア更新中は、電源ランプが点滅(赤色)、または赤/橙色で交互に点滅します。
・ご利用の状態によっては、ファームウェア更新が実行されない場合があります。

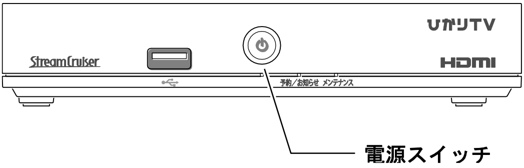
δ 注意
電源ランプが点滅状態(赤/橙色)のときは、AC コードを抜かないでください。また、STB 電源をオフにしないでください。 本商品が正常に起動しなくなる恐れがあります。

本商品が正常に動作しない場合は、「6-1 故障かなと思ったら」(ρ p.105)で故障の内容を確認してください。
それでも解決できないときは、裏表紙に記載の当社サポート窓口までご連絡ください。

ファームウェアの更新が完了して本商品が起動すると、電源ランプが橙色、または赤色の「**点灯**」状態になります。

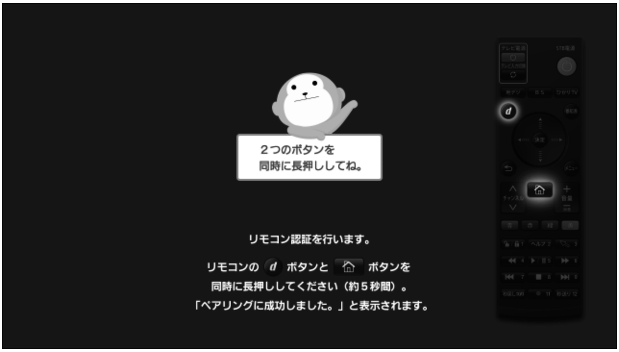
手順3に進んでください。

3　**前面にある電源スイッチを押して、本商品の STB 電源をオンにします。**



Memo　リモコンの[STB電源キー]を押しても、STB電源はオンになります。
ただし、リモコンで操作するには「ペアリング」(ρ p.37)が必要です。

本商品の STB 電源がオンになり、[リモコン認証]画面が表示されます。



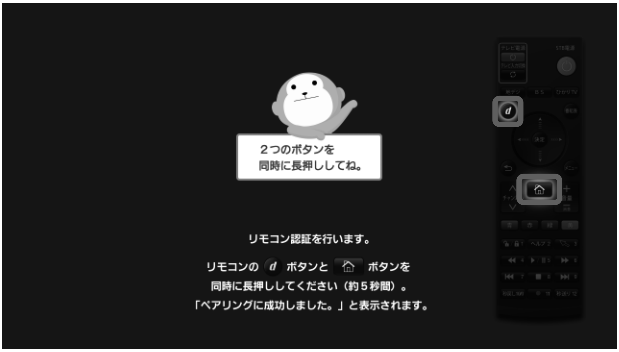
「2-4 リモコン認証を行う」(ρ p.37)に進んでください。

2-4　リモコン認証を行う

付属のリモコンと本商品をペアリング（リモコン認証）し、使用できるようにします。

1　**リモコンの[データキー]と[ホームキー]を同時に長押しします。**

リモコンのペアリング中は、予約/お知らせランプが点滅（橙色）します。



ペアリングが終了すると、「ペアリングに成功しました。」とメッセージが表示されます。

次に、本商品の初期設定に進みます。（ρ p.41）

Memo

- [エラー]画面が表示されたときは画面の案内にしたがって、もう一度リモコンのボタンを押してください。
- リモコンを交換したときは、本商品の背面にあるペアリングボタンを軽く押してペアリングを解除したあと、新しいリモコンの[データキー]と[ホームキー]を同時に長押しして、リモコンを登録します。

2-5　本商品のリモコンでテレビを操作する

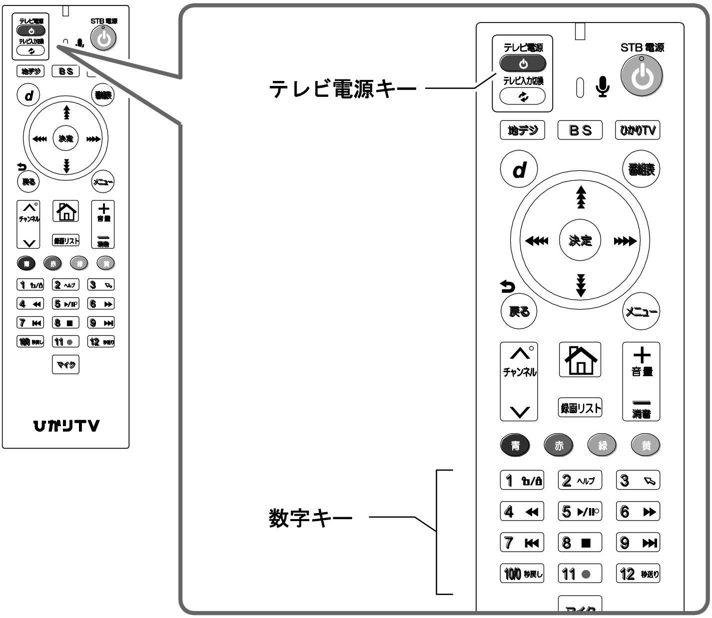
本商品に付属のリモコンで、テレビを操作できるように設定します。

1　**テレビの電源をオンにします。**

2　**リモコンの先端をテレビのリモコン受光部に向けて、信号を登録します。**

[テレビ電源キー]を押しながら、3 桁の番号を[数字キー]で入力します。

3 桁の番号は次ページを参照し、ご使用されているテレビメーカーに合わせて登録してください。



テレビメーカー	キー操作
パナソニック　１	[テレビ電源] ＋ [10/0 秒戻し] ⇒ [1] ⇒ [1]
パナソニック　２	[テレビ電源] ＋ [10/0 秒戻し] ⇒ [1] ⇒ [2 ヘルプ]
ソニー	[テレビ電源] ＋ [10/0 秒戻し] ⇒ [2 ヘルプ] ⇒ [1]
シャープ　１	[テレビ電源] ＋ [10/0 秒戻し] ⇒ [3] ⇒ [1]
シャープ　２	[テレビ電源] ＋ [10/0 秒戻し] ⇒ [3] ⇒ [2 ヘルプ]
東芝	[テレビ電源] ＋ [10/0 秒戻し] ⇒ [4] ⇒ [1]
日立	[テレビ電源] ＋ [10/0 秒戻し] ⇒ [5] ⇒ [1]
ビクター	[テレビ電源] ＋ [10/0 秒戻し] ⇒ [6] ⇒ [1]
三菱	[テレビ電源] ＋ [10/0 秒戻し] ⇒ [7] ⇒ [2 ヘルプ]
パイオニア	[テレビ電源] ＋ [10/0 秒戻し] ⇒ [8] ⇒ [1]
三洋　１	[テレビ電源] ＋ [1] ⇒ [10/0 秒戻し] ⇒ [1]
三洋　２	[テレビ電源] ＋ [1] ⇒ [10/0 秒戻し] ⇒ [2 ヘルプ]
フナイ	[テレビ電源] ＋ [1] ⇒ [1] ⇒ [1]
富士通ゼネラル	[テレビ電源] ＋ [1] ⇒ [2 ヘルプ] ⇒ [1]
アイワ	[テレビ電源] ＋ [1] ⇒ [3] ⇒ [1]
ＬＧ	[テレビ電源] ＋ [1] ⇒ [4] ⇒ [1]

登録に成功すると、本商品のリモコンで、テレビに対して「テレビ電源キー]、[テレビ入力切換キー]、[音量/消音キー]が操作できるようになります。

Memo

・同じメーカーで複数の番号がある場合は、正しく操作できる番号に設定してください。

・ご使用されているテレビによっては本商品のリモコンで操作できない場合があります。その場合は、テレビのリモコンをお使いください。

当社ホームページでは、各種商品の情報やバージョンアップサービスなどを提供しています。
本商品を最適にご利用いただくために、定期的にご覧いただくことをお勧めします。

当社ホームページ

http://www.hikaritv.net/

Ver. 1.5(2022.7)